

設 立 趣 旨 書

現代社会を生きる中で感じる生きづらさや問題意識に苦しみ、「孤独」や「退屈」を抱えている方がとても多いと感じている。家庭環境や学校、職場、地域社会など、従来のコミュニティが弱体化する中で、人が安心して「自分らしくいられる場所」が不足していることは、地域の大きな課題である。

HIPHOPでは、幼少期の思い出や人間関係、トラウマ、社会的不平等やうつ病との闘いなど、恥じることなく表現する。過去を肯定的に語るのではなく、あくまでも嘘偽りなくありのままのリアルを表現にすることで、ネガティブな実体験の肯定的な捉え直しができ、聞く人は胸を打ち、共感が生まれる。

音楽、ラップ、アート、ダンス、語り、地域文化などによる自己表現は、不安定な心を整え、人と人をつなぎ、自己肯定感を育む力を持っている。しかし、こうした表現活動に触れられる機会や、自由に挑戦できる環境はまだ十分に整っていない。

2022年より、ラップコンテスト「COCORO RAP」や、逗子の伝説・妖怪を題材にした文化プロジェクト「逗子のミステリー」、母親たちが自分らしさを発揮する「OCAN CREW(オカंकルー)」など、多様な活動を展開してきた。

これらの活動を通じて、人が「心から表現できる瞬間」は、年齢や立場を超えて大きなエネルギーを生み、地域を優しく強くすることを実感した。

そこで私たちは、「孤独と退屈に光を。"生きることそのものを面白くする"」をミッションに掲げ、誰もが自分の“心(COCORO)”をキャンバスのように自由に描き出せる場としてCOCORO CANVASを設立することとした。

地域の文化、アート、音楽、教育を融合させ、一人ひとりの「生き様」を表現するプラットフォームをつくるのが、本法人の目的である。

NPO法人化により、情報公開が義務付けられることで運営の透明性が担保され、社会的信用を得られ、公益性の高い運営体制を構築することができる。また、助成金や補助金への申請、行政や教育機関との正式な連携、企業や団体との協働などが進めやすくなり、活動の幅と安定性を高めることができます。よってここにNPO法人COCORO CANVASを設立する。

2026年2月6日

法人の名称 NPO法人 COCORO CANVAS

設立代表者 氏名 下崎 真世